

平成25年度～平成28年度県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
結果報告書の訂正について

令和元年7月8日
公立大学法人福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター

平成25年度～平成28年度県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の結果について、第19回、第23回、第27回及び第31回の「県民健康調査」検討委員会にて報告した内容を下記のとおり訂正して報告します。

記

1 飲酒に関する人数について

平成25年度～平成27年度結果報告書について、主に飲酒頻度及び飲酒量に関する人数に誤りがありました。その原因は、県民の方からの調査回答内容をデータエントリー（電子データ化）した際、数値以外の記入や欄外の記入を入力しないまま欠損データとして処理したことによるものであります。

当該データエントリー内容及びデータ処理結果について、改めて精査しましたので、訂正し報告します。

平成25年度～平成27年度結果報告書の訂正

	既報告値 (単位:人)		訂正值 (単位:人)	
	アルコール飲料の飲酒	飲酒の頻度	アルコール飲料の飲酒	飲酒の頻度
	有効回答(全体)	有効回答(全体)	有効回答(全体)	有効回答(全体)
平成25年度	42,325	<u>17,953</u>	42,325	<u>17,957</u>
平成26年度	40,686	<u>15,733</u>	40,700	<u>16,082</u>
平成27年度	<u>41,053</u>	<u>15,684</u>	<u>41,069</u>	<u>16,026</u>

	既報告値 (単位:人)		訂正值 (単位:人)	
	1日あたりの飲酒量	飲酒に関する経験	1日あたりの飲酒量	飲酒に関する経験
	有効回答(全体)	有効回答(全体)	有効回答(全体)	有効回答(全体)
平成25年度	<u>16,991</u>	17,011	<u>16,995</u>	17,011
平成26年度	<u>14,796</u>	<u>15,044</u>	<u>15,271</u>	<u>15,056</u>
平成27年度	<u>14,912</u>	<u>15,195</u>	<u>15,393</u>	<u>15,214</u>

2 電話支援の対象者数・実施者数について

平成28年度支援実施報告書（第31回検討委員会）について、電話支援の対象者数・実施者数に誤りがありました。第32回検討委員会において訂正しましたが、訂正漏れがありましたので、改めて訂正し報告します。

平成28年度支援実施報告書の訂正

表10 電話支援結果

	既報告値 (単位:人)			訂正值 (単位:人)		
	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
支援実施者数	2,127	1,686	441	2,127	1,686	441
経過観察1	1,840(86.5%)	1,453(86.2%)	387(87.8%)	1,840(86.5%)	1,453(86.2%)	387(87.8%)
経過観察2	183(8.6%)	149(8.8%)	34(7.7%)	181(8.5%)	147(8.7%)	34(7.7%)
経過観察3	56(2.6%)	45(2.7%)	11(2.5%)	52(2.4%)	43(2.6%)	9(2.0%)
支援希望なし	48(2.3%)	38(2.3%)	10(2.3%)	54(2.5%)	43(2.6%)	11(2.5%)

表11 「経過観察2」の判断理由

	既報告値 (単位:人)			訂正值 (単位:人)		
	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
「経過観察2」の件数	183	149	34	181	147	34
体調不良(身体)	104(56.8%)	85(57.0%)	19(55.9%)	104(57.5%)	85(57.8%)	19(55.9%)
体調不良(精神)	116(63.4%)	97(65.1%)	19(55.9%)	116(64.1%)	97(66.0%)	19(55.9%)
社会不適応	6(3.3%)	4(2.7%)	2(5.9%)	6(3.3%)	4(2.7%)	2(5.9%)
孤立	19(10.4%)	16(10.7%)	3(8.8%)	19(10.5%)	16(10.9%)	3(8.8%)
その他	11(6.0%)	8(5.4%)	3(8.8%)	11(6.1%)	8(5.4%)	3(8.8%)

・内訳は延べ数

表15 電話支援対象者の調査時住所状況(県内外)(文書支援対象者中)

	既報告値 (単位:人)			訂正值 (単位:人)		
	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
支援対象者数	268	222	46	273	225	48
県内	228(85.1%)	186(83.8%)	42(91.3%)	233(85.3%)	189(84.0%)	44(91.7%)
県外	40(14.9%)	36(16.2%)	4(8.7%)	40(14.7%)	36(16.0%)	4(8.3%)
支援実施者数	255	214	41	255	214	41
県内	216(84.7%)	179(83.6%)	37(90.2%)	216(84.7%)	179(83.6%)	37(90.2%)
県外	39(15.3%)	35(16.4%)	4(9.8%)	39(15.3%)	35(16.4%)	4(9.8%)

表17 電話支援結果(文書支援対象者中)

	既報告値 (単位:人)			訂正值 (単位:人)		
	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
支援実施者数	255	214	41	255	214	41
経過観察1	236(92.5%)	196(91.6%)	40(97.6%)	235(92.2%)	196(91.6%)	39(95.1%)
経過観察2	15(5.9%)	13(6.1%)	2(4.9%)	15(5.9%)	13(6.1%)	2(4.9%)
経過観察3	2(0.8%)	2(0.9%)	0(0.0%)	2(0.8%)	2(0.9%)	0(0.0%)
支援希望なし	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	3(1.2%)	3(1.4%)	0(0.0%)

正

誤

●結果概要 P.⑤-6

3. 結 果

5) 一般（平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた者）

(2) 生活習慣

（中略）

- ・ 現在喫煙者は 18.5%と平成 23 年度調査(20.7%)及び、平成 24 年度調査(20.4%)より、その割合は減少した。現在飲酒者は 44.1%と平成 23 年度調査(44.1%)及び、平成 24 年度調査(43.6%)とほぼ同様で、多量飲酒者(1 日 2 合以上飲酒)の割合は 8.0%であり、平成 23 年度調査(9.6%)及び、平成 24 年度調査(9.9%)に比べて減少した。

●結果報告書 P.⑤-41

11. 飲酒について（問 11）

（中略）

- 3) 「飲む(月に 1 回以上)」と回答した人のうち、お酒を飲む頻度は、週に 0 回が 1 人(0.0%)、1 回が 3,146 人(17.5%)、2 回が 1,766 人(9.8%)、3 回が 1,901 人(10.6%)、4 回が 1,072 人(6.0%)、5 回が 1,994 人(11.1%)、6 回が 2,141 人(11.9%)、7 回以上が 5,936 人(33.1%)であった。
- 4) 1 日あたりの平均飲酒量は、日本酒換算で約 1.0 合であった。飲酒(問 11 の 2))の有効回答者 42,325 人のうち 3,366 人(8.0%)が多量飲酒者(日本酒 2 合以上)であった。

●結果報告書資料 P.⑤-59

問11 お酒

1) アルコール飲料の飲酒 (震災以前)	(有効回答 42,894人)	・飲んでいなかった、または、ほとんど飲んでいなかった ・飲んでいた(月1回以上)	22,845 20,049	53.3% 46.7%
2) アルコール飲料の飲酒	(有効回答 42,325人)	・飲まない、または、ほとんど飲まない ・やめた ・飲む(月1回以上) (飲む酒類と頻度 ※本文中に掲載)	22,248 1,393 18,684	52.6% 3.3% 44.1%
3) 飲酒の頻度	(有効回答 17,957人)	・本文中に掲載		—
4) 1日あたりの飲酒量	(有効回答 16,995人)	・平均1.0合		—
5) 飲酒に関する経験	(有効回答 17,011人)	・本文中に掲載		—

3. 結 果

5) 一般（平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた者）

(2) 生活習慣

（中略）

- ・ 現在喫煙者は 18.5%と平成 23 年度調査(20.7%)及び、平成 24 年度調査(20.4%)より、その割合は減少した。現在飲酒者は 44.1%と平成 23 年度調査(44.1%)及び、平成 24 年度調査(43.6%)とほぼ同様で、多量飲酒者(1 日 2 合以上飲酒)の割合は 7.9%であり、平成 23 年度調査(9.6%)及び、平成 24 年度調査(9.9%)に比べて減少した。

11. 飲酒について（問 11）

（中略）

- 3) 「飲む(月に 1 回以上)」と回答した人のうち、お酒を飲む頻度は、週に 0 回が 1 人(0.0%)、1 回が 3,146 人(17.5%)、2 回が 1,766 人(9.8%)、3 回が 1,901 人(10.6%)、4 回が 1,072 人(6.0%)、5 回が 1,994 人(11.1%)、6 回が 2,141 人(11.9%)、7 回以上が 5,932 人(33.0%)であった。
- 4) 1 日あたりの平均飲酒量は、日本酒換算で約 1.0 合であった。飲酒(問 11 の 2))の有効回答者 42,325 人のうち 3,363 人(7.9%)が多量飲酒者(日本酒 2 合以上)であった。

問11 お酒

1) アルコール飲料の飲酒 (震災以前)	(有効回答 42,894人)	・飲んでいなかった、または、ほとんど飲んでいなかった ・飲んでいた(月1回以上)	22,845 20,049	53.3% 46.7%
2) アルコール飲料の飲酒	(有効回答 42,325人)	・飲まない、または、ほとんど飲まない ・やめた ・飲む(月1回以上) (飲む酒類と頻度 ※本文中に掲載)	22,248 1,393 18,684	52.6% 3.3% 44.1%
3) 飲酒の頻度	(有効回答 17,953人)	・本文中に掲載		—
4) 1日あたりの飲酒量	(有効回答 16,991人)	・平均1.0合		—
5) 飲酒に関する経験	(有効回答 17,011人)	・本文中に掲載		—

正

誤

●結果概要 P.④-6

3. 結 果

5) 一般（平成 11 年 4 月 1 日以前に生まれた者）

(2) 生活習慣

（中略）

- ・ 現在喫煙者は 17.2%と平成 25 年度調査 (18.5%)と比較して僅かながら喫煙者の割合が減少した。現在飲酒者は 41.5%と平成 25 年度調査 (44.1%)と比較して飲酒者の割合が減少したが、多量飲酒者(1日2合以上飲酒)の割合は 8.4%であり、平成 25 年度調査 (8.0%)と比較して同程度であった。

●結果報告書 P.④-30・31

7. 飲酒について（問7）

- 1) 飲酒（現在、お酒（アルコール飲料）を飲みますか）は、「飲まない、または、ほとんど飲まない（月に1回未満）」が 22,125 人 (54.4%)、「やめた」が 1,689 人 (4.1%)、「飲む(月に1回以上)」が 16,886 人 (41.5%)であった。
- 2) 「飲む(月に1回以上)」と回答した人のうち、お酒を飲む頻度は、週に1日が 2,299 人 (14.3%)、2 日が 1,622 人 (10.1%)、3 日が 1,556 人 (9.7%)、4 日が 1,005 人 (6.2%)、5 日が 1,724 人 (10.7%)、6 日が 1,925 人 (12.0%)、7 日が 5,951 人 (37.0%)であった。
- 3) 1日あたりの平均飲酒量は、日本酒換算で約 1.1 合であった。飲酒（問7の1）の有効回答者 40,700 人のうち 3,413 人 (8.4%)が多量飲酒者(日本酒 2 合以上)であった。
- 4) 飲酒に関する経験（過去 30 日間を振り返って、次のことについてお尋ねします（CAGE: アルコール依存症に関する尺度））の各項目への回答状況は、表16のとおりであった。「はい」という回答を1点とし、4項目の合計点を算出した。
年代別の結果は、表17のとおりで、全体では 0 点が 9,335 人 (62.0%)、1 点が 3,336 人 (22.2%)、2 点が 1,431 人 (9.5%)、3 点が 675 人 (4.5%)、4 点が 279 人 (1.9%)であった。
男性では、0 点が 5,759 人 (56.5%)、1 点が 2,554 人 (25.0%)、2 点が 1,113 人 (10.9%)、3 点が 562 人 (5.5%)、4 点が 212 人 (2.1%)であり、女性では、0 点が 3,576 人 (73.6%)、1 点が 782 人 (16.1%)、2 点が 318 人 (6.5%)、3 点が 113 人 (2.3%)、4 点が 67 人 (1.4%)であった。

3. 結 果

5) 一般（平成 11 年 4 月 1 日以前に生まれた者）

(2) 生活習慣

（中略）

- ・ 現在喫煙者は 17.2%と平成 25 年度調査 (18.5%)と比較して僅かながら喫煙者の割合が減少した。現在飲酒者は 41.5%と平成 25 年度調査 (44.1%)と比較して飲酒者の割合が減少したが、多量飲酒者(1日2合以上飲酒)の割合は 7.9%であり、平成 25 年度調査 (7.9%)と比較して同程度であった。

7. 飲酒について（問7）

- 1) 飲酒（現在、お酒（アルコール飲料）を飲みますか）は、「飲まない、または、ほとんど飲まない（月に1回未満）」が 22,128 人 (54.4%)、「やめた」が 1,689 人 (4.2%)、「飲む(月に1回以上)」が 16,869 人 (41.5%)であった。
- 2) 「飲む(月に1回以上)」と回答した人のうち、お酒を飲む頻度は、週に1日が 2,307 人 (14.7%)、2 日が 1,624 人 (10.3%)、3 日が 1,557 人 (9.9%)、4 日が 1,005 人 (6.4%)、5 日が 1,724 人 (11.0%)、6 日が 1,925 人 (12.2%)、7 日が 5,591 人 (35.5%)であった。
- 3) 1日あたりの平均飲酒量は、日本酒換算で約 1.1 合であった。飲酒（問7の1）の有効回答者 40,686 人のうち 3,233 人 (7.9%)が多量飲酒者(日本酒 2 合以上)であった。
- 4) 飲酒に関する経験（過去 30 日間を振り返って、次のことについてお尋ねします（CAGE: アルコール依存症に関する尺度））の各項目への回答状況は、表16のとおりであった。「はい」という回答を1点とし、4項目の合計点を算出した。
年代別の結果は、表17のとおりで、全体では 0 点が 9,330 人 (62.0%)、1 点が 3,333 人 (22.2%)、2 点が 1,428 人 (9.5%)、3 点が 674 人 (4.5%)、4 点が 279 人 (1.9%)であった。
男性では、0 点が 5,758 人 (56.5%)、1 点が 2,551 人 (25.0%)、2 点が 1,111 人 (10.9%)、3 点が 561 人 (5.5%)、4 点が 212 人 (2.1%)であり、女性では、0 点が 3,572 人 (73.6%)、1 点が 782 人 (16.1%)、2 点が 317 人 (6.5%)、3 点が 113 人 (2.3%)、4 点が 67 人 (1.4%)であった。

●結果報告書 P.④-31

表16 飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
1 飲酒量を減らさなければならぬと感じたことがありますか?	521 (78.3%)	82 (12.3%)	37 (5.6%)	18 (2.7%)	7 (1.1%)	665
2 他人があなたの飲酒を叱責するので気にさわったことがありますか?	979 (66.2%)	263 (17.8%)	133 (9.0%)	67 (4.5%)	36 (2.4%)	1,478
3 自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか?	1,154 (61.9%)	404 (21.7%)	187 (10.0%)	85 (4.6%)	34 (1.8%)	1,864
4 神経を落ち着かせたり、二日酔を治すために、「迎え酒」をしたことがありますか?	1,547 (58.3%)	628 (23.7%)	290 (10.9%)	127 (4.8%)	61 (2.3%)	2,653
	2,697 (59.6%)	1,099 (24.3%)	439 (9.7%)	209 (4.6%)	84 (1.9%)	4,528
	2,437 (63.0%)	860 (22.2%)	345 (8.9%)	169 (4.4%)	57 (1.5%)	3,868
全体	9,335 (62.0%)	3,336 (22.2%)	1,431 (9.5%)	675 (4.5%)	279 (1.9%)	15,056

※回答数が異なるため、合計が一致しない場合があります。

●結果報告書 P.④-31

表17 年代別の飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
20代	521 (78.3%)	82 (12.3%)	37 (5.6%)	18 (2.7%)	7 (1.1%)	665
30代	979 (66.2%)	263 (17.8%)	133 (9.0%)	67 (4.5%)	36 (2.4%)	1,478
40代	1,154 (61.9%)	404 (21.7%)	187 (10.0%)	85 (4.6%)	34 (1.8%)	1,864
50代	1,547 (58.3%)	628 (23.7%)	290 (10.9%)	127 (4.8%)	61 (2.3%)	2,653
60代	2,697 (59.6%)	1,099 (24.3%)	439 (9.7%)	209 (4.6%)	84 (1.9%)	4,528
70代以上	2,437 (63.0%)	860 (22.2%)	345 (8.9%)	169 (4.4%)	57 (1.5%)	3,868
全体	9,335 (62.0%)	3,336 (22.2%)	1,431 (9.5%)	675 (4.5%)	279 (1.9%)	15,056

●結果報告書 P.④-44

問7 お酒

1) アルコール飲料の飲酒	(有効回答 40,700人)	・飲まない、または、ほとんど飲まない	22,125	54.4%
		・やめた	1,689	4.1%
		・飲む(月1回以上)	16,886	41.5%
2) 飲酒の頻度	(有効回答 16,082人)	・本文中に掲載		
3) 1日あたりの飲酒量	(有効回答 15,271人)	・平均1.1合		
4) 飲酒に関する経験	(有効回答 15,056人)	・本文中に掲載		

表16 飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
1 飲酒量を減らさなければならぬと感じたことがありますか?	521 (78.3%)	82 (12.3%)	37 (5.6%)	18 (2.7%)	7 (1.1%)	665
2 他人があなたの飲酒を叱責するので気にさわったことがありますか?	979 (66.2%)	263 (17.8%)	133 (9.0%)	67 (4.5%)	36 (2.4%)	1,478
3 自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか?	1,154 (61.9%)	404 (21.7%)	187 (10.0%)	85 (4.6%)	34 (1.8%)	1,864
4 神経を落ち着かせたり、二日酔を治すために、「迎え酒」をしたことがありますか?	1,545 (58.3%)	628 (23.7%)	288 (10.9%)	127 (4.8%)	61 (2.3%)	2,649
	2,696 (59.6%)	1,099 (24.3%)	438 (9.7%)	208 (4.6%)	84 (1.9%)	4,525
	2,435 (63.0%)	857 (22.2%)	345 (8.9%)	169 (4.4%)	57 (1.5%)	3,863
全体	9,330 (62.0%)	3,333 (22.2%)	1,428 (9.5%)	674 (4.5%)	279 (1.9%)	15,044

※回答数が異なるため、合計が一致しない場合があります。

表17 年代別の飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
20代	521 (78.3%)	82 (12.3%)	37 (5.6%)	18 (2.7%)	7 (1.1%)	665
30代	979 (66.2%)	263 (17.8%)	133 (9.0%)	67 (4.5%)	36 (2.4%)	1,478
40代	1,154 (61.9%)	404 (21.7%)	187 (10.0%)	85 (4.6%)	34 (1.8%)	1,864
50代	1,545 (58.3%)	628 (23.7%)	288 (10.9%)	127 (4.8%)	61 (2.3%)	2,649
60代	2,696 (59.6%)	1,099 (24.3%)	438 (9.7%)	208 (4.6%)	84 (1.9%)	4,525
70代以上	2,435 (63.0%)	857 (22.2%)	345 (8.9%)	169 (4.4%)	57 (1.5%)	3,863
全体	9,330 (62.0%)	3,333 (22.2%)	1,428 (9.5%)	674 (4.5%)	279 (1.9%)	15,044

問7 お酒

1) アルコール飲料の飲酒	(有効回答 40,686人)	・飲まない、または、ほとんど飲まない	22,128	54.4%
		・やめた	1,689	4.2%
		・飲む(月1回以上)	16,869	41.5%
2) 飲酒の頻度	(有効回答 15,733人)	・本文中に掲載		
3) 1日あたりの飲酒量	(有効回答 14,796人)	・平均1.1合		
4) 飲酒に関する経験	(有効回答 15,044人)	・本文中に掲載		

正

誤

●結果概要 P.④-6

3. 結 果

5) 一般（平成 12 年 4 月 1 日以前に生まれた者）

(2) 生活習慣

（中略）

- ・ 現在喫煙者は 16.8%であり、平成 26 年度調査(17.2%)と比較してわずかながら喫煙者の割合が減少した。現在飲酒者は 41.0%であり、平成 26 年度調査(41.5%)と比較してわずかながら飲酒者の割合が減少したが、多量飲酒者(1 日 2 合以上飲酒)の割合は 8.2%であり、平成 26 年度調査(8.4%)と比較して同程度であった。

3. 結 果

5) 一般（平成 12 年 4 月 1 日以前に生まれた者）

(2) 生活習慣

（中略）

- ・ 現在喫煙者は 16.8%であり、平成 26 年度調査(17.2%)と比較してわずかながら喫煙者の割合が減少した。現在飲酒者は 41.0%であり、平成 26 年度調査(41.5%)と比較してわずかながら飲酒者の割合が減少したが、多量飲酒者(1 日 2 合以上飲酒)の割合は 7.8%であり、平成 26 年度調査(7.9%)と比較して同程度であった。

●結果報告書 P.④-31・32

7. 飲酒について（問7）

- 1) 飲酒（現在、お酒（アルコール飲料）を飲みますか）は、「飲まない、または、ほとんど飲まない（月に 1 回未満）」が 22,414 人(54.6%)、「やめた」が 1,795 人(4.4%)、「飲む(月に 1 回以上)」が 16,860 人(41.1%)であった。
- 2) 「飲む(月に 1 回以上)」と回答した人のうち、お酒を飲む頻度は、1 日が 2,328 人(14.5%)、2 日が 1,621 人(10.1%)、3 日が 1,613 人(10.1%)、4 日が 999 人(6.2%)、5 日が 1,661 人(10.4%)、6 日が 1,909 人(11.9%)、7 日が 5,895 人(36.8%)であった。
- 3) 1 日あたりの平均飲酒量は、日本酒換算で約 1.1 合であった。飲酒(問7の1))の有効回答者 41,069 人のうち 3,376 人(8.2%)が多量飲酒者(日本酒 2 合以上)であった。
- 4) 飲酒に関する経験(過去 30 日間を振り返って、次のことについてお尋ねします(CAGE:アルコール依存症に関する尺度))の各項目への回答状況は、表16のとおりであった。「はい」という回答を 1 点とし、4 項目の合計点を算出した。
年代別の結果は、表17(次頁)のとおりで、全体では 0 点が 9,625 人(63.3%)、1 点が 3,377 人(22.2%)、2 点が 1,370 人(9.0%)、3 点が 613 人(4.0%)、4 点が 229 人(1.5%)であった。
男性では、0 点が 5,909 人(57.5%)、1 点が 2,606 人(25.3%)、2 点が 1,076 人(10.5%)、3 点が 514 人(5.0%)、4 点が 178 人(1.7%)であり、女性では、0 点が 3,716 人(75.4%)、1 点が 771 人(15.6%)、2 点が 294 人(6.0%)、3 点が 99 人(2.0%)、4 点が 51 人(1.0%)であった。

7. 飲酒について（問7）

- 1) 飲酒（現在、お酒（アルコール飲料）を飲みますか）は、「飲まない、または、ほとんど飲まない（月に 1 回未満）」が 22,419 人(54.6%)、「やめた」が 1,798 人(4.4%)、「飲む(月に 1 回以上)」が 16,836 人(41.0%)であった。
- 2) 「飲む(月に 1 回以上)」と回答した人のうち、お酒を飲む頻度は、1 日が 2,341 人(14.9%)、2 日が 1,629 人(10.4%)、3 日が 1,617 人(10.3%)、4 日が 999 人(6.4%)、5 日が 1,661 人(10.6%)、6 日が 1,909 人(12.2%)、7 日が 5,528 人(35.2%)であった。
- 3) 1 日あたりの平均飲酒量は、日本酒換算で約 1.1 合であった。飲酒(問7の1))の有効回答者 41,053 人のうち 3,207 人(7.8%)が多量飲酒者(日本酒 2 合以上)であった。
- 4) 飲酒に関する経験(過去 30 日間を振り返って、次のことについてお尋ねします(CAGE:アルコール依存症に関する尺度))の各項目への回答状況は、表16のとおりであった。「はい」という回答を 1 点とし、4 項目の合計点を算出した。
年代別の結果は、表17(次頁)のとおりで、全体では 0 点が 9,612 人(63.3%)、1 点が 3,374 人(22.2%)、2 点が 1,367 人(9.0%)、3 点が 613 人(4.0%)、4 点が 229 人(1.5%)であった。
男性では、0 点が 5,902 人(57.5%)、1 点が 2,603 人(25.3%)、2 点が 1,074 人(10.5%)、3 点が 514 人(5.0%)、4 点が 178 人(1.7%)であり、女性では、0 点が 3,710 人(75.3%)、1 点が 771 人(15.7%)、2 点が 293 人(6.0%)、3 点が 99 人(2.0%)、4 点が 51 人(1.0%)であった。

●結果報告書 P.④-32

表16 飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
1 飲酒量を減らさなければならぬと感じたことがありますか?	538 (77.5%)	104 (15.0%)	34 (4.9%)	11 (1.6%)	7 (1.0%)	694
2 他人があなたの飲酒を叱責するので気にさわったことがありますか?	922 (65.9%)	257 (18.4%)	135 (9.6%)	62 (4.4%)	23 (1.6%)	1,399
3 自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか?	1,159 (62.4%)	400 (21.6%)	165 (8.9%)	94 (5.1%)	38 (2.0%)	1,856
4 神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために、「迎え酒」をしたことがありますか?	1,583 (60.8%)	639 (24.5%)	236 (9.1%)	109 (4.2%)	37 (1.4%)	2,604
	2,840 (61.1%)	1,092 (23.5%)	439 (9.4%)	194 (4.2%)	82 (1.8%)	4,647
70代以上	2,583 (64.3%)	885 (22.0%)	361 (9.0%)	143 (3.6%)	42 (1.0%)	4,014
全体	9,625 (63.3%)	3,377 (22.2%)	1,370 (9.0%)	613 (4.0%)	229 (1.5%)	15,214

※回答数が異なるため、合計が一致しない場合があります。

●結果報告書 P.④-32

表17 年代別の飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
20代	538 (77.5%)	104 (15.0%)	34 (4.9%)	11 (1.6%)	7 (1.0%)	694
30代	922 (65.9%)	257 (18.4%)	135 (9.6%)	62 (4.4%)	23 (1.6%)	1,399
40代	1,159 (62.4%)	400 (21.6%)	165 (8.9%)	94 (5.1%)	38 (2.0%)	1,856
50代	1,583 (60.8%)	639 (24.5%)	236 (9.1%)	109 (4.2%)	37 (1.4%)	2,604
60代	2,840 (61.1%)	1,092 (23.5%)	439 (9.4%)	194 (4.2%)	82 (1.8%)	4,647
70代以上	2,583 (64.3%)	885 (22.0%)	361 (9.0%)	143 (3.6%)	42 (1.0%)	4,014
全体	9,625 (63.3%)	3,377 (22.2%)	1,370 (9.0%)	613 (4.0%)	229 (1.5%)	15,214

●結果報告書 P.④-35

11. (現在の) 生活状況について (問 11)

(中略)

- 2) 同居の人数(自分を含めて)は、震災前が、「1人(ひとり暮らし)」が3,003人(7.5%)、「2人」が9,271人(23.1%)、「3人」が7,982人(19.8%)、「4人」が6,937人(17.3%)、「5人」が5,001人(12.4%)、「6人」が4,076人(10.1%)、「7人」が2,470人(6.1%)、「8人」が991人(2.5%)、「9人」が304人(0.8%)、「10人以上」が178人(0.4%)であった。現在は、「1人(ひとり暮らし)」が6,179人(14.7%)、「2人」が14,798人(35.2%)、「3人」が

表16 飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
1 飲酒量を減らさなければならぬと感じたことがありますか?	538 (77.5%)	104 (15.0%)	34 (4.9%)	11 (1.6%)	7 (1.0%)	694
2 他人があなたの飲酒を叱責するので気にさわったことがありますか?	922 (65.9%)	257 (18.4%)	135 (9.6%)	62 (4.4%)	23 (1.6%)	1,399
3 自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか?	1,156 (62.4%)	400 (21.6%)	165 (8.9%)	94 (5.1%)	38 (2.1%)	1,853
4 神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために、「迎え酒」をしたことがありますか?	1,581 (60.8%)	639 (24.6%)	236 (9.1%)	109 (4.2%)	37 (1.4%)	2,602
	2,836 (61.1%)	1,090 (23.5%)	438 (9.4%)	194 (4.2%)	82 (1.8%)	4,640
70代以上	2,579 (64.4%)	884 (22.1%)	359 (9.0%)	143 (3.6%)	42 (1.0%)	4,007
全体	9,612 (63.3%)	3,374 (22.2%)	1,367 (9.0%)	613 (4.0%)	229 (1.5%)	15,195

※回答数が異なるため、合計が一致しない場合があります。

表17 年代別の飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
20代	538 (77.5%)	104 (15.0%)	34 (4.9%)	11 (1.6%)	7 (1.0%)	694
30代	922 (65.9%)	257 (18.4%)	135 (9.6%)	62 (4.4%)	23 (1.6%)	1,399
40代	1,156 (62.4%)	400 (21.6%)	165 (8.9%)	94 (5.1%)	38 (2.1%)	1,853
50代	1,581 (60.8%)	639 (24.6%)	236 (9.1%)	109 (4.2%)	37 (1.4%)	2,602
60代	2,836 (61.1%)	1,090 (23.5%)	438 (9.4%)	194 (4.2%)	82 (1.8%)	4,640
70代以上	2,579 (64.4%)	884 (22.1%)	359 (9.0%)	143 (3.6%)	42 (1.0%)	4,007
全体	9,612 (63.3%)	3,374 (22.2%)	1,367 (9.0%)	613 (4.0%)	229 (1.5%)	15,195

11. (現在の) 生活状況について (問 11)

(中略)

- 2) 同居の人数(自分を含めて)は、震災前が、「1人(ひとり暮らし)」が3,001人(7.5%)、「2人」が9,271人(23.1%)、「3人」が7,982人(19.9%)、「4人」が6,937人(17.3%)、「5人」が5,001人(12.4%)、「6人」が4,076人(10.1%)、「7人」が2,470人(6.1%)、「8人」が991人(2.5%)、「9人」が304人(0.8%)、「10人以上」が178人(0.4%)であった。現在は、「1人(ひとり暮らし)」が6,179人(14.7%)、「2人」が14,798人(35.2%)、「3人」が

8,352人(19.8%)、「4人」が5,903人(14.0%)、「5人」が3,225人(7.7%)、「6人」が2,021人(4.8%)、「7人」が1,076人(2.6%)、「8人」が394人(0.9%)、「9人」が74人(0.2%)、「10人以上」が55人(0.1%)であった。

●結果報告書 P.④-45

問7 お酒	人数	割合
1) アルコール飲料の飲酒 (有効回答 41,069人)	22,414	54.6%
・やめた	1,795	4.4%
・飲む(月1回以上)	16,860	41.1%
・本文中に掲載		
2) 飲酒の頻度 (有効回答 16,026人)		
・本文中に掲載		
3) 1日あたりの飲酒量 (有効回答 15,393人)		
・平均 1.1合		
4) 飲酒に関する経験 (有効回答 15,214人)		
・本文中に掲載		

●結果報告書 P.④-46

問11 現在の生活状況について	人数	割合
1) 家族との生活状況 (有効回答 42,985人)	14,219	33.1%
・はい	28,766	66.9%
・いいえ	3,003	7.5%
2) 同居人数 (有効回答 40,213人)	9,271	23.1%
・1人(ひとり暮らし)	27,939	69.5%
・2人		
・3人以上		
※詳細は本文中に掲載		
現在 (有効回答 42,077人)	6,179	14.7%
・1人(ひとり暮らし)	14,798	35.2%
・2人	21,100	50.1%
・3人以上		
※詳細は本文中に掲載		
3) 現在の住まい (※複数回答)	7,066	-
・借上住宅	4,212	-
・仮設住宅	920	-
・復興公営住宅	4,954	-
・借家・アパート	944	-
・親戚宅	25,001	-
・持家	581	-
・その他		
4) 勤務形態 (有効回答 42,218人)	11,675	27.7%
・常勤・自営	3,471	8.2%
・パート	27,072	64.1%
・無職(学生、専業主婦を含む)	4,033	9.4%
5) 現在のくらし向き (有効回答 43,060人)	9,210	21.4%
・やや苦しい	26,602	61.8%
・普通	2,322	5.4%
・ややゆとりがある	893	2.1%
・ゆとりがある		
6) 震災前の子どもの同居状況 (有効回答 37,056人)	7,249	19.6%
・はい	545	-
(妊娠中)		
(就学前の子ども)	3,084	-
(小学生の子ども)	2,870	-
(中学生の子ども)	1,363	-
(中学卒業以上の未成年の子ども)	1,830	-
・いいえ	29,807	80.4%
7) 現在の子どもとの同居状況 (有効回答 36,393人)	5,706	15.7%
・はい	283	-
(妊娠中)		
(就学前の子ども)	2,326	-
(小学生の子ども)	2,388	-
(中学生の子ども)	1,455	-
(中学卒業以上の未成年の子ども)	1,422	-
・いいえ	30,687	84.3%

8,351人(19.8%)、「4人」が5,903人(14.0%)、「5人」が3,225人(7.7%)、「6人」が2,021人(4.8%)、「7人」が1,076人(2.6%)、「8人」が394人(0.9%)、「9人」が74人(0.2%)、「10人以上」が56人(0.1%)であった。

問7 お酒	人数	割合
1) アルコール飲料の飲酒 (有効回答 41,053人)	22,419	54.6%
・飲まない、または、ほとんど飲まない	1,798	4.4%
・やめた	16,836	41.0%
・飲む(月1回以上)		
・本文中に掲載		
2) 飲酒の頻度 (有効回答 15,684人)		
・本文中に掲載		
3) 1日あたりの飲酒量 (有効回答 14,912人)		
・平均 1.1合		
4) 飲酒に関する経験 (有効回答 15,195人)		
・本文中に掲載		

問11 現在の生活状況について	人数	割合
1) 家族との生活状況 (有効回答 42,985人)	14,219	33.1%
・はい	28,766	66.9%
・いいえ	3,001	7.5%
2) 同居人数 (有効回答 40,211人)	9,271	23.1%
・1人(ひとり暮らし)	27,939	69.5%
・2人		
・3人以上		
※詳細は本文中に掲載		
現在 (有効回答 42,077人)	6,179	14.7%
・1人(ひとり暮らし)	14,798	35.2%
・2人	21,100	50.1%
・3人以上		
※詳細は本文中に掲載		
3) 現在の住まい (※複数回答)	7,066	-
・借上住宅	4,212	-
・仮設住宅	920	-
・復興公営住宅	4,954	-
・借家・アパート	944	-
・親戚宅	25,001	-
・持家	581	-
・その他		
4) 勤務形態 (有効回答 42,218人)	11,675	27.7%
・常勤・自営	3,471	8.2%
・パート	27,072	64.1%
・無職(学生、専業主婦を含む)	4,033	9.4%
5) 現在のくらし向き (有効回答 43,060人)	9,210	21.4%
・やや苦しい	26,602	61.8%
・普通	2,322	5.4%
・ややゆとりがある	893	2.1%
・ゆとりがある		
6) 震災前の子どもの同居状況 (有効回答 37,056人)	7,249	19.6%
・はい	545	-
(妊娠中)		
(就学前の子ども)	3,084	-
(小学生の子ども)	2,870	-
(中学生の子ども)	1,363	-
(中学卒業以上の未成年の子ども)	1,830	-
・いいえ	29,807	80.4%
7) 現在の子どもとの同居状況 (有効回答 36,393人)	5,706	15.7%
・はい	283	-
(妊娠中)		
(就学前の子ども)	2,326	-
(小学生の子ども)	2,388	-
(中学生の子ども)	1,455	-
(中学卒業以上の未成年の子ども)	1,422	-
・いいえ	30,687	84.3%

正

誤

●支援実施報告 P.②-59

6. 結果

(4) 一般への電話支援

ア 電話支援基準による支援

(ウ) 支援結果

電話支援を行った結果は、表 10 のとおり。「経過観察1」は 1,840 人(86.5%)、「経過観察2」は 181 人(8.5%)、「経過観察3」は 52 人(2.4%)、「支援希望なし」は 54 人(2.5%)であった。

表 10 電話支援結果

支援実施者数	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
	2,127	1,686	441
経過観察1	1,840 (86.5%)	1,453 (86.2%)	387 (87.8%)
経過観察2	181 (8.5%)	147 (8.7%)	34 (7.7%)
経過観察3	52 (2.4%)	43 (2.6%)	9 (2.0%)
支援希望なし	54 (2.5%)	43 (2.6%)	11 (2.5%)

・経過観察1: 体調や環境面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源利用の有無が確認できた場合など、自身で対処がなされていると判断された者

・経過観察2: 体調不良や震災時の影響を強く受けている者、社会・学校不適応や孤立している者など、やや心配が残ると判断された者

・経過観察3: 何らかの理由で状況確認が困難だった者

「経過観察2」と判断した理由は、表 11 のとおりであった。「体調不良(身体)」が104 人(57.5%)、「体調不良(精神)」が116 人(64.1%)、「社会不適応」が6 人(3.3%)、「孤立」が19 人(10.5%)であった。

表 11 「経過観察2」の判断理由

「経過観察2」の件数	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
	181	147	34
体調不良(身体)	104 (57.5%)	85 (57.8%)	19 (55.9%)
体調不良(精神)	116 (64.1%)	97 (66.0%)	19 (55.9%)
社会不適応	6 (3.3%)	4 (2.7%)	2 (5.9%)
孤立	19 (10.5%)	16 (10.9%)	3 (8.8%)
その他	11 (6.1%)	8 (5.4%)	3 (8.8%)

・内訳は延べ数

6. 結果

(4) 一般への電話支援

ア 電話支援基準による支援

(ウ) 支援結果

電話支援を行った結果は、表 10 のとおり。「経過観察1」は 1,840 人(86.5%)、「経過観察2」は 183 人(8.6%)、「経過観察3」は 56 人(2.7%)、「支援希望なし」は 48 人(2.3%)であった。

表 10 電話支援結果

支援実施者数	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
	2,127	1,686	441
経過観察1	1,840 (86.5%)	1,453 (86.2%)	387 (87.8%)
経過観察2	183 (8.6%)	149 (8.8%)	34 (7.7%)
経過観察3	56 (2.6%)	45 (2.7%)	11 (2.5%)
支援希望なし	48 (2.3%)	38 (2.3%)	10 (2.3%)

・経過観察1: 体調や環境面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源利用の有無が確認できた場合など、自身で対処がなされていると判断された者

・経過観察2: 体調不良や震災時の影響を強く受けている者、社会・学校不適応や孤立している者など、やや心配が残ると判断された者

・経過観察3: 何らかの理由で状況確認が困難だった者

「経過観察2」と判断した理由は、表 11 のとおりであった。「体調不良(身体)」が104 人(56.8%)、「体調不良(精神)」が116 人(63.4%)、「社会不適応」が6 人(3.3%)、「孤立」が19 人(10.4%)であった。

表 11 「経過観察2」の判断理由

「経過観察2」の件数	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
	183	149	34
体調不良(身体)	104 (56.8%)	85 (57.0%)	19 (55.9%)
体調不良(精神)	116 (63.4%)	97 (65.1%)	19 (55.9%)
社会不適応	6 (3.3%)	4 (2.7%)	2 (5.9%)
孤立	19 (10.4%)	16 (10.7%)	3 (8.8%)
その他	11 (6.0%)	8 (5.4%)	3 (8.8%)

・内訳は延べ数

●支援実施報告 P.②-61

6. 結果

(4) 一般への電話支援

イ 文書支援対象者中の電話支援

(ア) 支援対象者の基本属性 (文書支援対象者中)

文書支援対象者のうち、返信されたハガキで電話支援希望の有無を確認し、支援希望の記載がある方、もしくは「こころの健康支援チーム」が返信内容から支援が必要と判断した方に対して、電話支援を行った。

電話支援の対象となった方は、尺度による支援の対象者 225 人と尺度以外の項目による支援の対象者 48 人の計 273 人であった。このうち、支援を実施できた方は 255 人(93.4%)であった。

電話支援対象者の性別及び年代の分布は表 14 のとおり。全体の性別では、男性が 134 名、女性が 139 名であった。年代では、70 代の電話支援対象者が最も多かった。

表 14 電話支援対象者の性別及び年代の分布(文書支援対象者中)

年代	尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	男性	女性	男性	女性
10代	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20代	5 (0.0%)	5 (100.0%)	1 (0.0%)	1 (100.0%)
30代	9 (44.4%)	5 (55.6%)	3 (66.7%)	1 (33.3%)
40代	16 (50.0%)	8 (50.0%)	6 (33.3%)	4 (66.7%)
50代	21 (52.4%)	10 (47.6%)	5 (60.0%)	2 (40.0%)
60代	44 (38.6%)	27 (61.4%)	22 (68.2%)	7 (31.8%)
70代	78 (46.2%)	42 (53.8%)	5 (60.0%)	2 (40.0%)
80代以上	50 (54.0%)	23 (46.0%)	6 (66.7%)	2 (33.3%)
合計	225 (46.7%)	120 (53.3%)	48 (60.4%)	19 (39.6%)

・平成28年4月1日現在

対象者の調査時住所は、県内が 233 人(85.3%)、県外が 40 人(14.7%)であった。そのうち、支援を実施できた方は、県内が 216 人(84.7%)、県外が 39 人(15.3%)であった(表 15)。

表 15 電話支援対象者の調査時住所状況(県内外)(文書支援対象者中)

支援対象者数	尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	全体	県内	全体	県内
273	225 (82.4%)	189 (84.0%)	48 (17.6%)	44 (91.7%)
40	36 (90.0%)	36 (16.0%)	4 (10.0%)	4 (8.3%)
255	214 (83.9%)	179 (83.6%)	41 (16.1%)	37 (90.2%)
216	179 (82.4%)	35 (16.4%)	37 (17.6%)	4 (9.8%)

・平成28年度調査発時点の住所

6. 結果

(4) 一般への電話支援

イ 文書支援対象者中の電話支援

(ア) 支援対象者の基本属性 (文書支援対象者中)

文書支援対象者のうち、返信されたハガキで電話支援希望の有無を確認し、支援希望の記載がある方、もしくは「こころの健康支援チーム」が返信内容から支援が必要と判断した方に対して、電話支援を行った。

電話支援の対象となった方は、尺度による支援の対象者 225 人と尺度以外の項目による支援の対象者 48 人の計 273 人であった。このうち、支援を実施できた方は 255 人(93.4%)であった。

電話支援対象者の性別及び年代の分布は表 14 のとおり。全体の性別では、男性が 132 名、女性が 136 名であった。年代では、70 代の電話支援対象者が最も多かった。

表 14 電話支援対象者の性別及び年代の分布(文書支援対象者中)

年代	尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	男性	女性	男性	女性
10代	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20代	5 (0.0%)	5 (100.0%)	1 (0.0%)	1 (100.0%)
30代	9 (44.4%)	5 (55.6%)	3 (66.7%)	1 (33.3%)
40代	16 (50.0%)	8 (50.0%)	6 (30.0%)	4 (40.0%)
50代	21 (52.4%)	10 (47.6%)	5 (60.0%)	2 (40.0%)
60代	44 (38.6%)	27 (61.4%)	22 (68.2%)	7 (31.8%)
70代	78 (46.2%)	42 (53.8%)	5 (60.0%)	2 (40.0%)
80代以上	50 (54.0%)	23 (46.0%)	6 (66.7%)	2 (33.3%)
合計	225 (46.7%)	120 (53.3%)	48 (60.4%)	19 (39.6%)

・平成28年4月1日現在

対象者の調査時住所は、県内が 228 人(85.1%)、県外が 40 人(14.9%)であった。そのうち、支援を実施できた方は、県内が 216 人(84.7%)、県外が 39 人(15.3%)であった(表 15)。

表 15 電話支援対象者の調査時住所状況(県内外)(文書支援対象者中)

支援対象者数	尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	全体	県内	全体	県内
268	222 (82.8%)	186 (83.8%)	46 (17.2%)	42 (91.3%)
40	36 (90.0%)	36 (16.2%)	4 (10.0%)	4 (8.7%)
255	214 (83.9%)	179 (83.6%)	41 (16.1%)	37 (90.2%)
216	179 (82.4%)	35 (16.4%)	37 (17.6%)	4 (9.8%)

・平成28年度調査発時点の住所

●支援実施報告 P.②-64

6. 結果

(4) 一般への電話支援

イ 文書支援対象者中の電話支援

(ウ) 支援結果 (文書支援対象者中)

電話支援を行った結果は、表 17 のとおりである。「経過観察1」は 235 人 (92.2%)、「経過観察2」は 15 人 (5.9%)、「経過観察3」は 2 人 (0.8%)、「支援希望なし」は 3 人 (1.2%) であった。

表 17 電話支援結果 (文書支援対象者中)

支援実施者数	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
経過観察1	235	214 (91.6%)	41 (95.1%)
経過観察2	15	13 (6.1%)	2 (4.9%)
経過観察3	2	2 (0.9%)	0 (0.0%)
支援希望なし	3	3 (1.4%)	0 (0.0%)

・経過観察1: 体調や環境面で状態の改善が確認できたと判断できた者
 ・経過観察2: 体調不良や震災時の影響を強く受けている者、社会・学校不適応や孤立している者など、やや心配が残ると判断された者
 ・経過観察3: 何らかの理由で状況確認が困難だった者

6. 結果

(4) 一般への電話支援

イ 文書支援対象者中の電話支援

(ウ) 支援結果 (文書支援対象者中)

電話支援を行った結果は、表 17 のとおりである。「経過観察1」は 236 人 (92.5%)、「経過観察2」は 15 人 (5.9%)、「経過観察3」は 2 人 (0.8%)、「支援希望なし」は 0 人 (0%) であった。

表 17 電話支援結果 (文書支援対象者中)

支援実施者数	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
経過観察1	236	214 (91.6%)	41 (97.6%)
経過観察2	15	13 (6.1%)	2 (4.9%)
経過観察3	2	2 (0.9%)	0 (0.0%)
支援希望なし	0	0 (0.0%)	0 (0.0%)

・経過観察1: 体調や環境面で状態の改善が確認できたと判断できた者
 ・経過観察2: 体調不良や震災時の影響を強く受けている者、社会・学校不適応や孤立している者など、やや心配が残ると判断された者
 ・経過観察3: 何らかの理由で状況確認が困難だった者

●支援実施報告 P.②-68

7. まとめ

電話支援により対象者の状況確認を行ったところ、問題として多く挙げられた内容は、子どもは「学校に関すること」「怒り・イライラ・暴力」「身体面の健康」(保護者は「学校に関すること」「身体面の健康」「睡眠」)であり、一般の支援対象者は、「身体面の健康」「抑うつ」であった。

これらの訴えに対する支援の対応内容は、子どもでは「傾聴」が最も多く、次いで「心理教育」であった。一般では、「傾聴」が最も多く、次いで「生活習慣指導」「受診勧奨」であった。

電話支援の結果、「経過観察2(社会・学校不適応や孤立している等の理由でやや心配が残ると判断された方)」に分類された割合は、子どもへの電話支援では5.5%であり、平成27年度調査(13.6%)と比較し減少した。また、一般への電話支援では、8.5%であり、平成27年度調査(12.5%)と比較し減少し、文書支援対象者についても、5.9%と平成27年度調査(6.6%)と比較し減少した。

「経過観察2」と判断した理由は、子どもでは「体調不良(精神)」「学校不適応」(保護者では「養育上の問題」)が多く、一般では「体調不良(身体)」「体調不良(精神)」が多かった。

また、電話支援で必要と判断された場合は、「継続支援」や「外部連絡」等の対応を行い継続的な見守りや状況確認を行うとともに、地域の保健・医療機関へと繋いだ。特に、生活習慣支援基準で継続支援を行った方は、医療機関への受診や生活習慣の改善など行動変容が認められた方が7割程度おり、電話による一定の効果が認められた。

7. まとめ

電話支援により対象者の状況確認を行ったところ、問題として多く挙げられた内容は、子どもは「学校に関すること」「怒り・イライラ・暴力」「身体面の健康」(保護者は「学校に関すること」「身体面の健康」「睡眠」)であり、一般の支援対象者は、「身体面の健康」「抑うつ」であった。

これらの訴えに対する支援の対応内容は、子どもでは「傾聴」が最も多く、次いで「心理教育」であった。一般では、「傾聴」が最も多く、次いで「生活習慣指導」「受診勧奨」であった。

電話支援の結果、「経過観察2(社会・学校不適応や孤立している等の理由でやや心配が残ると判断された方)」に分類された割合は、子どもへの電話支援では5.5%であり、平成27年度調査(13.6%)と比較し減少した。また、一般への電話支援では、8.6%であり、平成27年度調査(12.5%)と比較し減少し、文書支援対象者についても、5.9%と平成27年度調査(6.6%)と比較し減少した。

「経過観察2」と判断した理由は、子どもでは「体調不良(精神)」「学校不適応」(保護者では「養育上の問題」)が多く、一般では「体調不良(身体)」「体調不良(精神)」が多かった。

また、電話支援で必要と判断された場合は、「継続支援」や「外部連絡」等の対応を行い継続的な見守りや状況確認を行うとともに、地域の保健・医療機関へと繋いだ。特に、生活習慣支援基準で継続支援を行った方は、医療機関への受診や生活習慣の改善など行動変容が認められた方が7割程度おり、電話による一定の効果が認められた。